



意思決定のプロセス

経験に基づいて意思決定を行うために人間が用いるプロセスは**記憶・定式化・予測フレームワーク**と呼ばれ、次の 3 つのステップで構成されている

ref: なっとく！機械学習 p8~9、p15

記憶 過去の同じような状況を思い出す

定式化 全般的なルールを定式化する

予測 このルールを使って将来起こるかもしれないことを予測する

コンピュータに「記憶・定式化・予測」フレームワークを使わせることで、コンピュータに私たちと同じように考えさせることができる

記憶 巨大なデータテーブルを調べる

定式化 さまざまなルールや式を調べてデータに最適なモデルを作成する


予測 モデルを使って未来（未知）のデータについて予測を行う



モデルとアルゴリズム

コンピュータはデータを使って**モデル**を構築するという方法で問題を解く

ref: なっとく！機械学習 p9


 **モデル** データを表すルールの集まりであり、予測を行うために使うことができる

モデルは、

既存のデータをできる限り厳密に模倣する一連のルールを使って現実を表すもの

と考えることができる


一方、**アルゴリズム**は、モデルを構築するために使ったプロセスのこと

 **アルゴリズム** 問題を解いたり計算を行ったりするために使われる手続き（一連のステップ）



特徴量

ref: なっとく！機械学習 p13

 **特徴量** モデルが予測を行うために使うことができるデータの特性や属性